

1. 経 済 動 向

記事提供：一般財団法人 建設物価調査会 北陸支部

新潟県内の景況について

新潟県鉱工業指数をみると、令和6年12月の生産指数は96.2で前月比3.0%上昇と、3ヵ月ぶりの上昇となった。業種別にみると、化学工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業等10業種が上昇し、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等5業種が低下した。出荷指数は97.5で、こちらも前月比4.2%の上昇となった。これは、汎用・生産用・業務用機械工業、鉄鋼業、電気・情報通信機械工業、食料品工業等14業種が上昇し、食料品工業の1業種が低下したことによる。在庫指数は95.8で前月比0.7%の上昇となった。これは、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品工業等8業種が上昇し、汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業等6業種が低下したことによる。

令和6年12月の有効求人倍率は1.50倍（全国平均1.25倍）で前月比0.02ポイントの上昇となった。新規求人倍率は2.38倍で、こちらは0.08ポイントの低下となった。主要産業別にみると、学術研究・専門・技術サービス業、教育・学習支援業等で上昇し、宿泊業・飲食サービス業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業等で低下した。雇用情勢は改善の動きにやや足踏み感があり、引き続き、求人・求職の動きに留意しつつ、物価の高騰等が雇用に与える影響にも十分注意する必要がある。

令和6年12月の新潟市消費者物価指数は、総合で109.5となり前月に比べ0.8%の上昇、前年同月比では3.5%の上昇となっている。前月からの動きをみると「食料」が2.2%上昇したものの、「家具・家事用品」が2.8%低下した結果、総合で0.8%の上昇となった。

富山県内の景況について

富山県鉱工業指数をみると、令和6年12月の生産指数は97.0で前月比4.4%の低下となり、2ヵ月ぶりに低下した。これは13業種中、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業等の8業種が低下したことによる。なお上昇した業種は、プラスチック製品工業、窯業・土石製品工業等5業種となった。在庫指数は103.6と前月比0.2%の低下となった。これは13業種中、汎用・生産用・業務用機械工業等7業種が低下したことによる。なお上昇した業種は、電気機械工業等6業種となった。

令和6年12月の有効求人倍率は1.38倍となり、前月と変わらず。新規求人数は7,397人と前年同月比9.9%低下し、2ヵ月連続の低下となった。主要産業別にみると、生活関連サービス業、娯楽業、宿泊業、飲食サービス業で上昇し、医療・福祉が低下した。雇用情勢は求人が求職を上回って推移しているものの、求人の動きに足踏み感があり、改善の動きに弱さがみられ、物価上昇が雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。

令和6年12月の富山市消費者物価指数は、総合で111.0となり前月比0.5%の上昇となった。これは、「家具・家事用品」等は低下したものの、「光熱・水道」等が上昇したことによる。また前年同月比では、「住居」が低下したものの、「食料」等が上昇したことにより3.0%の上昇となった。

石川県内の景況について

石川県鉱工業指数をみると、令和6年12月の生産指数は107.5と前月比5.1%上昇と、2ヵ月ぶりの上昇となった。これは汎用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業、化学工業等が上昇したことによる。出荷指数は102.9と前月比0.9%の上昇で、こちらも2ヵ月ぶりの上昇となった。また在庫指数は78.8で前月比6.8%上昇し、こちらは3ヵ月ぶりの上昇となった。

令和6年12月の有効求人倍率は1.61倍で、前月比0.04ポイントの上昇となった。また新規求人倍率は2.57倍で、こちらは前月比0.13ポイント低下した。主要産業別にみると、建設業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、教育・学習支援業が上昇。一方、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、医療・福祉等は低下した。雇用情勢は、令和6年能登半島地震及び豪雨の影響により、一部地域に弱さが見られるものの、持ち直しの動きが見られる。

令和6年12月の金沢市消費者物価指数は、総合で110.8となり前月比0.5%上昇した。これは、「光熱・水道」、「食料」等が上昇したことによる。また前年同月比では、「食料」、「光熱・水道」、「教養娯楽」等が上昇し、3.7%の上昇となった。

※ 上記は、令和6年12月時点での経済活動である。

主要経済動向指標（北陸地方３県の比較）

項目・ 県別 年度区分			鉱工業生産動向指数(季節調整済) [令和2年=100] ※石川は令和6年8月分より令和2年基準								
			生 産			出 荷			在 庫		
			新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川
令和 五 年 度	Ⅳ	1月	89.8	88.4	86.5	93.6	-	89.0	91.8	100.6	88.2
		2月	99.5	96.9	97.0	98.8	-	95.8	93.8	99.0	90.4
		3月	96.6	98.2	97.7	94.3	-	94.1	96.8	101.2	89.3
令和 六 年 度	Ⅰ	4月	98.6	102.0	102.9	99.6	-	97.0	95.3	101.2	86.3
		5月	103.2	105.1	112.4	99.3	-	107.9	95.9	99.9	90.6
		6月	99.9	104.2	95.0	97.8	-	92.8	94.6	102.1	87.3
	Ⅱ	7月	100.3	102.5	106.8	103.0	-	102.8	94.3	100.3	91.3
		8月	100.3	96.2	96.5	99.3	-	95.7	94.8	100.2	84.4
		9月	r 100.9	99.9	102.8	r 97.2	-	99.2	96.3	100.4	87.6
	Ⅲ	10月	99.4	95.6	113.6	98.1	-	113.6	94.6	99.8	86.4
		11月	93.4	101.5	102.3	93.6	-	102.0	95.1	103.8	73.8
		12月	96.2	97.0	107.5	97.5	-	102.9	95.8	103.6	78.8
資料出所			県統計課								

項目・ 県別 年度区分			有効求人倍率			消費者物価指数		
			(季節調整済)			※[2020年＝100]		
			新 潟	富 山	石 川	新潟（市）	富山（市）	金沢（市）
令和 五 年 度	Ⅳ	1月	1.50	1.43	1.60	106.0	107.8	107.2
		2月	1.46	1.41	1.50	105.8	107.7	106.8
		3月	1.49	1.44	1.44	106.2	107.8	107.2
令和 六 年 度	Ⅰ	4月	1.48	1.43	1.46	106.9	108.4	107.9
		5月	1.45	1.39	1.48	107.1	108.8	108.2
		6月	1.42	1.37	1.42	107.2	108.8	108.3
	Ⅱ	7月	1.40	1.38	1.47	107.6	109.5	109.0
		8月	1.44	1.37	1.49	107.8	109.7	109.4
		9月	1.46	1.36	1.53	107.7	109.0	109.0
	Ⅲ	10月	1.48	1.37	1.59	108.6	109.8	109.6
		11月	1.48	1.38	1.57	108.6	110.4	110.2
		12月	1.50	1.38	1.61	109.5	111.0	110.3
資料出所			労働局職業安定課			県統計課		

(注) ・ Pは速報値を示し、rは修正値を示す。
 ・ 各指標は速報値を含み年度修正が行われるため、先の公表分と異なる場合がある。